

**1** 子どもの言葉で園の良いところを伝える

園の良いところ、好きなどころを子どもにインタビューし、紹介しています。保育者の言葉よりも説得力があり、園が身近に感じられるようです。  
(大阪府・公立幼稚園)

**2**

## 保育の様子を動画に収めたDVDを配布



園のパンフレットと共に保育の様子を動画に収めたDVDもお渡ししています。どんな園があらかじめよくわかるので、入園にあたっての不安が払拭され、保護者の期待と園の実情とのギャップも生まれにくくなっているようです。  
(広島県・私立幼稚園)

**3**

## 年間を通して見学を受け入れる

入園を希望される保護者には全員、見学をしていただくのですが、実際の子どもたちの活動の様子を見ながら、園の保育観を伝えるようにしています。見学日は特に決めておらず、1年中見学可能にしています。少人数で1時間程度、質問にも答えながら園内を案内します。納得して入園していただくので、保護者は園に協力的ですし、入園後、保育内容に対しての苦情は今のところ全くありません。  
(福岡県・私立幼稚園)

**4**

## 保育中であっても、自由に園内を見学してもらう



園見学は保育中であっても自由に教室の戸を開け、入ってよい旨を保護者に伝えます。同時に、入室していただくよう職員自らも保護者に声かけをしています。保護者は驚かれますが、一緒に見学に来た子どもは「また行きたい!」という気持ちになるようです。  
(神奈川県・私立幼稚園)

5

## ふだんの1日を紹介することで園の様子がより理解できる

見学には1時間弱かけていただくので、1回の見学者は2組までとしています。また、入園説明会では普通の園の1日の生活を映像にして20分ほど見ていただいています。特別な行事ではない日常生活の映像のほうが保育の様子をイメージしやすいととても好評です。

(東京都・私立幼稚園)



6

## 1日の保育の様子と1年の流れを動画で紹介

多くの保護者が参加できるよう、入園説明会ではできる限りたくさん行っています。会では、1日の保育の様子と1年間の園の流れ、子どもの成長をビデオで見てもらいます。入園説明会に来た人の90%以上に入園申込みをしていただいています。

(茨城県・私立幼稚園)



7

## 特に伝えたいことを絞り込み、実例を交えて紹介

入園説明会で園の方針を分かりやすく伝えるように心がけています。ポイントは、紹介する方針を特に大切な項目に絞り込み、実践例を交えて説明することです。「温かく園児を包みこみ、子どもの意欲を育てる」という方針を保護者が理解してくれたようで、入園式では安心した保護者の様子が見られています。

(岩手県・公立幼稚園)



8

## スライドを用いて子どもの発達を理解してもらう

3~5歳の発達の道筋をスライドでわかりやすく伝えていきます。保護者に当園における各年齢の目指すところを理解してもらうためです。子どもの発達が見通せることで、「子どもとともに育てる」という意識が強くなるように感じます。

(静岡県・私立幼稚園)



9

## 日常の活動の写真で我が子の成長をイメージ

入園を希望される方には必ず見学に来てもらい、園の保育理念をしっかりと説明します。今まで撮りためた写真を見せながら、日頃の活動の様子を紹介します。保育の充実した内容を写真で見ることにより、自分の子どもの成長が想像でき「すごいですね～」とびっくりされています。

(熊本県・私立保育園)



10

## 園見学で得られた子どもの情報を保育に活用

子どもを遊ばせるついでに、何回か園見学に見える方もいらっしゃいます。園見学に参加するほど、入園までの不安がなくなり、園の方針を理解してもらえるようです。また、こちらも入園までに子どもの顔、特徴がわかるので、クラス分けの時に役立ちます。

(栃木県・私立認定こども園)

